

千代田町中心拠点地区市街地再開発事業

令和3年3月時点

◇千代田町中心拠点地区 市街地再開発準備組合

◇事業協力者

問合せ先：準備組合事務局

都市計画部 市街地整備課 再開発係

027-898-6004（内 3949）

【 準備組合の状況 】

□準備組合員数

地権者 34 名中 28 名が加入（令和3年3月現在）

□経過

平成30年10月に準備組合を設立し、令和元年9月に事業協力者と基本協定締結。

令和2年2月より事業協力者※ と共に基本構想作成に着手し、施設の用途や規模、配置等を検討すると共に様々な調査や保留床取得者を想定した企業誘致活動等を行う。

※ 事業協力者は大和リース株式会社群馬支店（代表）、株式会社ヤマト、大和ハウス工業株式会社東京本店、株式会社石井設計、小林工業株式会社、株式会社クーデーコンサルタンツ東京事務所

【 基本構想 】

□まちづくりの方針

・アーバンデザイン・Green&Relax

⇒複数用途が混在した便利さと、緑あふれる居心地の良さを兼ね備えたまちづくり

・最先端のまちづくり

⇒デジタル技術を導入・活用し、利便性と効率性に優れた暮らしやすいまちづくり

・多世代間交流

⇒暮らす人、働く人、学ぶ人が共生し、多世代間交流が生まれるまちづくり

【 想定スケジュール 】

・都市計画決定

令和3年度

・調査設計計画

令和4年度

・組合設立認可

令和4年度

・実施設計

令和5年度

・権利変換認可

令和5年度

・工事

令和6年度～

オフィス

商業

教育文化

住宅

構想イメージ

中央通り

銀座通り

立川通り

□主たる用途と概要

・商業（スズラン前橋店及び他権利床取得者 専有床面積：約 15,000 m²）

⇒まちのキーテナントとして、にぎわい要素と連携した商業コンテンツを提供
地方都市での新しい商業施設の形態として整備運営

・オフィス（県内外の企業誘致 延床面積：約 10,000 m²）

⇒デジタルツールの活用により生産性の高い仕事ができる環境を構築
県内外からのオフィスワーカーの利用を想定し、住宅の併設も検討

・教育文化（市立図書館本館の移転、学校法人による新校開学 等 延床面積：約 16,000 m²）

⇒ICT技術によるデジタルアーカイブなどのオンラインサービスにより利便性や利用価値を高め、多世代が集い憩える次世代型図書館 など

⇒学校法人による、新しい優れた教育環境をまちづくりと共に創出

・住宅（都市型共同住宅 約 80 戸）

⇒駅やオフィス街へのスムーズなアクセスなど、まちなかという利便性の高い好立地を生かした住環境整備

・その他

⇒建物と一体となった歩行者空間の整備により、まちの回遊性・滞留性・利便性が高められ快適な歩行者ネットワークを創出

⇒まちなかに配慮して西街区の地下1階部分に約100台の地下駐車場を整備し周辺駐車場と連携を図る

※当該基本構想及びスケジュールは、協議検討により変更となることがあります。